



令和2年1月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和元年12月6日

上場会社名 株式会社 ユークス
コード番号 4334 URL <http://www.yukes.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷口 行規

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 品治 康隆

TEL 072-224-5155

四半期報告書提出予定日 令和元年12月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年1月期第3四半期の連結業績(平成31年2月1日～令和元年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年1月期第3四半期	3,314	23.5	315		179		123	
31年1月期第3四半期	2,683	2.1	125	27.1	427	70.7	291	70.2

(注) 包括利益 2年1月期第3四半期 116百万円 (%) 31年1月期第3四半期 293百万円 (62.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年1月期第3四半期	14.26	
31年1月期第3四半期	33.66	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年1月期第3四半期	9,746	3,609	37.0
31年1月期	10,310	3,812	37.0

(参考) 自己資本 2年1月期第3四半期 3,609百万円 31年1月期 3,812百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年1月期		0.00		10.00	10.00
2年1月期		0.00			
2年1月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年1月期の連結業績予想(平成31年2月1日～令和2年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,174	7.6	26	90.2	270	23.3	182	17.1	21.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年1月期3Q	11,096,000 株	31年1月期	11,096,000 株
期末自己株式数	2年1月期3Q	2,444,872 株	31年1月期	2,444,872 株
期中平均株式数(四半期累計)	2年1月期3Q	8,651,128 株	31年1月期3Q	8,651,128 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が期待されております。世界経済におきましては、米中貿易摩擦に起因する中国経済の停滞懸念や、延長を繰り返している英国のEU離脱問題等のリスクはなお存在しており、先行きの不透明感が増しております。

当社グループに関連するエンタテインメント業界におきまして、家庭用ハードでは、新型の家庭用ゲーム機やクラウド上で提供されるゲームプラットフォームが相次いで発表されました。スマートフォン向けアプリを中心としたオンラインゲームにおきましては、カードゲーム、格闘、ストラテジー、アクション、バトルロイヤルなど様々なジャンルのゲームでeスポーツの大会が開かれるなど、活況を呈しました。

そのような環境のもと、当社グループの受託ソフトにおきましては、3Dアクションシューティングゲーム「EARTH DEFENSE FORCE: IRON RAIN」のプレイステーション4用が平成31年4月に、Steam用が令和元年10月にいずれもディースリー・パブリッシャーより発売されております。

自社コンテンツの「AR performers」では、AR(拡張現実)の本格ライブ「KICK A' LIVE3」が令和元年8月に開催され、4,000人の観客を動員しました。上映会では、4月に「REWIND5」を開催したほか、12月14・15日に「REWIND6」の開催を予定しております。また、12月11日にエイベックストラックスより「1st A' LIVE GREATEST MOMENTS DVD BOX I & II」の発売を予定しております。

パチンコ・パチスロ分野におきましては、3タイトルの画像開発プロジェクトが終了しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は3,314百万円(前年同期比24%増)、経常損失は179百万円(前年同期は経常利益427百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は123百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益291百万円)となりました。

なお、当社グループは、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの業績の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して564百万円減少し9,746百万円となりました。主な要因としては、現金及び預金の増加527百万円、売掛金の減少310百万円、仕掛品の減少905百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して361百万円減少し6,136百万円となりました。主な要因としては、短期借入金の増加650百万円、前受金の減少1,071百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して203百万円減少し3,609百万円となりました。主な要因としては、親会社株主に帰属する四半期純損失123百万円、剰余金の配当86百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成31年1月期決算短信(平成31年3月8日公表)において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により記載の予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成31年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,521,702	8,049,137
売掛金	487,083	176,093
商品	5,517	4,905
仕掛品	1,282,894	377,860
その他	69,827	176,846
貸倒引当金	△11	△179
流動資産合計	9,367,012	8,784,663
固定資産		
有形固定資産	46,488	39,763
無形固定資産	13,135	10,424
投資その他の資産	885,486	912,486
貸倒引当金	△1,209	△1,209
固定資産合計	943,899	961,465
資産合計	10,310,912	9,746,129
負債の部		
流動負債		
買掛金	597	-
短期借入金	4,650,000	5,300,000
未払金	317,634	281,749
未払法人税等	87,921	-
前受金	1,164,496	93,012
賞与引当金	108,035	141,694
その他	12,281	157,629
流動負債合計	6,340,967	5,974,085
固定負債		
長期未払金	62,200	62,200
退職給付に係る負債	94,579	99,776
その他	250	250
固定負債合計	157,029	162,226
負債合計	6,497,997	6,136,311
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,902	412,902
資本剰余金	432,218	432,218
利益剰余金	3,678,567	3,468,677
自己株式	△738,303	△738,303
株主資本合計	3,785,383	3,575,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,228	33,103
為替換算調整勘定	1,303	1,220
その他の包括利益累計額合計	27,531	34,323
純資産合計	3,812,915	3,609,817
負債純資産合計	10,310,912	9,746,129

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成31年2月1日 至令和元年10月31日)
売上高	2,683,187	3,314,380
売上原価	1,887,380	3,079,053
売上総利益	795,807	235,327
販売費及び一般管理費	670,282	550,452
営業利益又は営業損失(△)	125,524	△315,125
営業外収益		
受取利息	82,069	143,116
受取配当金	890	787
為替差益	217,815	-
その他	3,570	3,347
営業外収益合計	304,346	147,251
営業外費用		
支払利息	2,624	3,268
為替差損	-	8,548
その他	2	126
営業外費用合計	2,626	11,943
経常利益又は経常損失(△)	427,244	△179,818
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	427,244	△179,818
法人税等	136,062	△56,439
四半期純利益又は四半期純損失(△)	291,181	△123,378
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	291,181	△123,378

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成31年2月1日 至令和元年10月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	291,181	△123,378
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△830	6,874
為替換算調整勘定	3,402	△82
その他の包括利益合計	2,571	6,791
四半期包括利益	293,752	△116,586
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	293,752	△116,586
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、重要な加減算項目や税額控除項目を考慮して税金費用を算定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成30年2月1日至平成30年10月31日)および当第3四半期連結累計期間(自平成31年2月1日至令和元年10月31日)

当社グループの事業は、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。